

擁壁等補修

参考見積内容

令和2年9月

独立行政法人水資源機構  
徳山ダム管理所

## 工事の内容

### 第 1 節 工事目的

集団移転地の擁壁等補修を行うものである。

### 第 2 節 工事概要

#### 2-1 工事場所

岐阜県本巣市文殊地内

#### 3-2 工事数量

補修は 2 地区計 59 軒を予定しており、合計数量は以下のとおり想定している。

(1) ひび割れ補修 A	L=約 33m
(2) ひび割れ補修 B	L=約 5m
(3) ひび割れ補修 C	L=約 1m
(4) 伸縮目地補修	L=約 113m
(5) 目地補修	L=約 543m
(6) 隙間補修	L=約 60m
(7) 破損補修	A=約 24m <sup>2</sup>
(8) 笠木撤去・再設置	L=約 22m

### 第 4 節 工事内容

#### 4-1 ひび割れ補修 A

1. 注入材は無収縮モルタルとする。
2. シール材は、注入材の流出を確実にシールでき短時間で硬化し容易に除去できる作業性の良好なものを使用するものとする。
3. 注入する亀裂について亀裂幅等に応じて、注入管ピッチ、使用材料等を計画しなければならない。
4. 注入は、低圧、低速連続注入を行い、ひび割れ状況に応じて圧力調整が可能な工法とする。
5. 注入量は 2.32kg/m (ロスを含む) 程度とする。
6. 注入材の硬化後、取付けパイプやシール材をディスクサンダー等で取り除き、平坦に仕上げるものとする。

#### 4-2 ひび割れ補修 B

1. 注入材はエポキシ樹脂とする。
2. シール材は、注入材の流出を確実にシールでき短時間で硬化し容易に除去できる作業性の良好なものを使用するものとする。
3. 注入する亀裂について亀裂幅等に応じて、注入管ピッチ、使用材料等を計画しなければならない。
4. 注入は、低圧、低速連続注入を行い、ひび割れ状況に応じて圧力調整が可能な

工法とする。

5. 注入量は 0.91kg/m (ロスを含む) 程度とする。
6. 注入材の硬化後、取付けパイプやシール材をディスクサンダー等で取り除き、平坦に仕上げるものとする。

#### 4-3 ひび割れ補修 C

1. ひび割れについて、無収縮モルタルに充填より補修するものとする。
2. 補修方法は、ひび割れ箇所を V カットした後、ブラシ等で補修箇所を清掃し、ひび割れ空隙部を湿潤状態にした後、無収縮モルタルを充填するものとする。  
なお、V カットの範囲は幅 10mm、深さ 80mm 程度を想定している。
3. 無収縮モルタル充填後は、急激な乾燥収縮を避けるため、養生マット等を使用するなどして、湿潤養生を確実にを行い、品質確保に努めるものとする。

#### 4-4 伸縮目地補修

1. 損傷した伸縮目地について、シーリング材により補修するものとする。
2. 補修方法は、損傷した伸縮目地を除去した後、ブラシ等で補修箇所を清掃し、補修するものとする。
3. シーリング材はシリコーン系 2 成分形とする。
4. シーリング材の厚さは、目地幅 20mm 以下は 10mm、20mm 超は 12.5mm を想定している。

#### 4-5 目地補修

1. 目地の破損及び隙間について、無収縮モルタル充填により補修するものとする。
2. 補修方法は、破損・欠損した目地モルタル等をサンダー等で除去した後、ブラシ等で補修箇所を清掃し、ひび割れ空隙部を湿潤状態にした後、無収縮モルタルを充填するものとする。
3. 無収縮モルタル充填後は、急激な乾燥収縮を避けるため、養生マット等を使用するなどして、湿潤養生を確実にを行い、品質確保に努めるものとする。

#### 4-6 隙間補修

1. 擁壁等の隙間について、無収縮モルタル充填により補修するものとする。補修方法は 4-5 目地補修に同じ。

#### 4-7 破損補修

1. 擁壁等の表面破損等について、無収縮モルタルにより補修するものとする。
2. 補修方法は、損傷箇所を粗面にし、ブラシ等で清掃した後、左官工法により無収縮モルタルで補修するものとする。
3. 補修後は、急激な乾燥収縮を避けるため、養生マット等を使用するなどして、湿潤養生を確実にを行い、品質確保に努めるものとする。

#### 4-8 笠木撤去・再設置

1. 背面のコンクリートとの間に隙間が生じている既設擬石ブロック笠木（高さ 150mm、長さ 600mm、奥行き 250mm）について、撤去・再設置により隙間を補修するものとする。なお、撤去・再設置は足場上での作業を想定しているが、第 5 節のとおり足場設置撤去費用については本参考見積では計上不要である。
2. 隙間に堆積した木根、枝葉等については再設置の前に除去するものとする。

#### 第 5 節 その他

1. 施工に必要な足場設置撤去については別途積み上げを行うため、本参考見積では計上不要とする。
2. 本参考見積の対象には含めていないが、同工事において、擁壁撤去・設置（3 軒で合計 L=約 19m の）の施工を予定している。

以 上